



自らまなび 心豊かに  
たくましく生きる  
江北の子を育てます

# 江北小だより

～幸せいっぱい 학교をめざして～

校長だより第12号

令和2年11月25日(水) 江北小学校 校長 篠原 一彦



## 「出会えたね。 とびっきりの1冊に。」

この表題は今年の「子どもの読書週間」のキャッチフレーズです。子どもの頃に良い本に出会うと豊かな情操が生まれ、心身の成長にとっても良い影響を与えていると言われています。今月、江北小では読書の秋にちなんだ二つのイベントが開催されました。

一つ目は11日(水)に1～4年生の子ども達を対象に開催された「音楽と絵本の読み語り」です。音楽と絵本の読み語りグループの「SORA」さんに来ていただき、絵本の読み語りにBGMをつけて、絵本の世界を広げてくださいました。翌週に講演で来校される宮西達也(みやにし・たつや)さんの『きみはほんとうにステキだね』も読んでいただき、子ども達はわくわくしながら絵本の世界に引き込まれていました。

二つ目は19日(木)に絵本作家の宮西達也さんを招いて5～6年生を対象に行われた講演会です。『おまえうまそうだな』『おとうさんはウルトラマン』『にゃーご』など300冊を超える絵本を描かれた宮西さんのお話と読み語りはユーモアに富み、子ども達もすっかり魅了されました。読み語りには先生方も参加し、子ども達は宮西さんと先生方のコラボレーションを大いに楽しみました。

宮西さんは「子ども時代の今、たくさんの感動経験をしておこう」「一生懸命するのはきついことだけど、そのあとに頑張った良かったと思える時が必ず来る」「夢をもちましょ。夢があると人はそれに向かって生きる喜びがわいてきます」など、たくさんのメッセージをくださいました。本当にあつという間に感じた講演でした。

講演終了後、宮西さんは「江北小の子ども達は笑顔が素敵で温かさを感じました。また佐賀に来たいです!」とおっしゃってくださいました。ぜひ実現したらいいなと思いました。(宮西さんが子ども達に向けて描いてくださったイラストを裏面に掲載しています。江北町のキャラクター「ピッキー」も描いてくださいました。)



↑先生方の音読も見事だった絵本の読み語り

↑絵本にサインとイラストを描かれる宮西さん

## 窓ガラスをきれいに磨いていただきました

11月13日(土)、PTA福祉環境部の皆さんが教室と廊下の窓磨きをしてくださいました。今年はコロナ禍の影響でなかなか活動ができなかったので「子ども達のために役に立つことを」と委員長さんが企画され、委員のお父さん、お母さんにご協力いただき実現したものです。



ふだんの掃除では、窓ガラスを磨くことは割れたり転落の危険を伴ったりするので子ども達にはさせていません。それで外側の窓はかなり土ぼこりによる汚れが付着していました。そのガラスを委員の皆さんは学年ごとにチームを組んで1枚1枚、丁寧に磨き上げてくださいました。おかげでガラスもとてもクリアになり、教室全体が明るくなった感じがしました。お休みの日にもかかわらずご協力いただいた委員の皆様、本当に有難うございました。

## PTA給食試食会が開催されました



11月18日(水)、PTA給食試食会が開催され、30名を超える保護者様に参加いただきました。はじめに本校栄養教諭の森先生より、給食が作られる際の衛生管理の様子や児童の栄養管理について講話していただきました。そして子ども達の給食の様子を見ていただいた後、当日の給食を試食していただきました。この日のメインディッシュの「レンコン入りつくねハンバーグ」は調理員さんの手作りでレンコンの歯ごたえのよさもあってとても美味しく、栄養面でも優れており好評でした。来年はコロナ禍が終息していれば、ぜひ親子一緒に給食を食べていただきたいと思っています。参加いただいた保護者の皆様、有難うございました。

## 県大会優勝おめでとうございます!

11月に開催された佐賀新聞・学童オリンピック(JAカップ)で、江北少年野球の皆さんが見事、優勝の栄冠に輝きました。キャプテンと副キャプテンが優勝旗と優勝カップを持って優勝報告をしてくれました。優勝は日頃の鍛錬とチームワークの結果だと思います。本当におめでとうございます。



